

事業概要シート

担当部名	福祉部	事業名	高齢者バス割引乗車券購入費助成事業
担当課名	介護福祉課	根拠法令・例規・要綱・計画等	高齢者バス割引乗車券購入費助成事業実施要綱
担当係名	高齢者ふれあい係		
事業開始年度	平成17年度		

事業概要

目的	高齢者の最も身近な公共交通機関である「路線バス」に着目し、市内全域に営業路線を保有している神奈川中央交通(株)が発行している高齢者割引乗車券(かなちゃん手形)の購入費を助成することにより、高齢者の外出機会の拡大を図り、社会参加や健康づくり、生きがいつくりの増進及び「寝たきり」や「閉じこもり」等の介護予防に資することを目的としています。
対象	各年度4月1日現在の厚木市の住民基本台帳登録者で、年度内に満70歳以上の方(ただし、特別養護老人ホーム入所者、ねたきり老人登録者や交通費助成等の福祉サービス利用者は除く。)
事業詳細(実施内容・実施手法等)	<ol style="list-style-type: none"> <li>助成内容 神奈川中央交通(株)が発行している高齢者割引乗車券(かなちゃん手形)の購入費に対する助成</li> <li>助成額 ・1年券(通常購入価格9,850円)に対して4,800円を助成(個人負担:5,050円) ・6ヶ月券(通常購入価格5,400円)に対して2,400円を助成(個人負担:3,000円)</li> <li>1年券 購入手続きスケジュール ・5月下旬 購入対象者全員に通知発送(購入費助成券)【令和元年度対象者数:43,983人】 ・6月1日 市広報及び各地区公民館だより掲載 ・6月17日～29日 購入申し込み(公民館等) ・6月30日～8月31日 購入申し込み(神奈中本厚木駅前サービスセンター)</li> </ol>
事業の効果	高齢者人口の増加に伴い、寝たきり、閉じこもり等の様々な問題が生じている中で外出機会の拡大を図り、社会参加や健康づくり・生きがいつくりを進めていくことが必要とされています。かなちゃん手形の購入に対して助成を行うことにより、より多くの高齢者に積極的な外出を促し、高齢者の社会参加をもたらすと同時に運転免許証を返納された高齢者の生活支援の一助となることが期待されます。
事業周知方法・内容	・広報あつぎや市ホームページ、公民館だよりに掲載 ・購入対象者全員に通知を発送


事業の全体像(フロー図、写真などを用いて事業の様子を視覚的に説明)

1 「かなちゃん手形」とは

- ・神奈川中央交通(株)で販売している割引乗車券の一つ。
- ・対象は65歳以上の方(65歳の誕生日以降の方)限定で発売。
- ・「かなちゃん手形」を運賃支払い時に提示することで一般路線バスの区間(高速バス・空港リムジンバス・深夜急行バス・旅行などの貸切バス・催事輸送等)は対象外。)を1乗車につき現金100円でご利用できる乗車券。(深夜バスは現金200円)
- ・使用回数が多ければ多いほどお得にバスが利用できる乗車券

2 販売価格

- ★1年券 通常購入価格9,850円
- ★6ヶ月券 通常購入価格5,400円



**高齢者バス割引乗車券購入費助成制度**

1 助成額・個人負担額

- ★1年券 4,800円(個人負担:5,050円)
- ★6ヶ月券 2,400円(個人負担:3,000円)

2 助成対象

各年度4月1日現在の厚木市の住民基本台帳登録者で、年度内に満70歳以上の方(ただし、特別養護老人ホーム入所者、ねたきり老人登録者や交通費助成等の福祉サービス利用者は除く。)

在宅福祉の推進

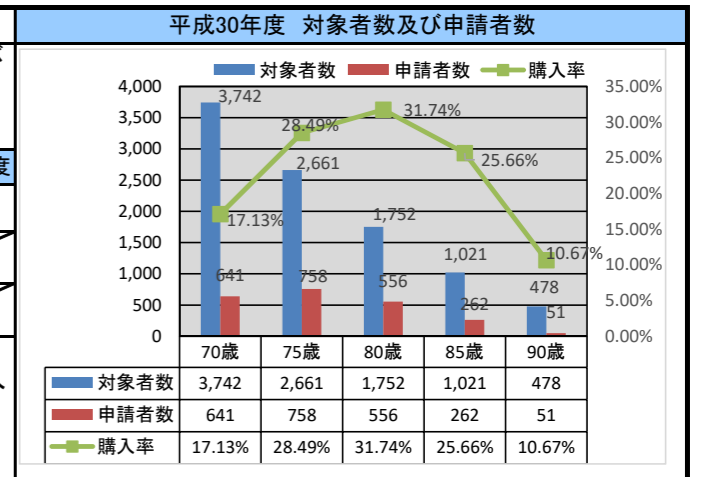
高齢者の足の確保

外出機会の拡大

【関連事業】高齢者タクシー助成事業

- 事業開始年度 平成29年度
- 助成対象者 市内在住の世帯員全員が85歳以上の方
  - ・当該年度(4月1日から3月31日まで)内に85歳になられる方を含みます。
  - ・介護保険施設や障害者支援施設に入所されている方、病院又は診療所に入院されている方は対象外。なお、高齢者バス割引乗車券(かなちゃん手形)購入費助成、福祉タクシー利用券助成又は身体障害者等ガソリン助成と重複しての受給は不可。
- 利用券枚数 申請が4月～6月 8枚、7月～9月 6枚、10月～12月 4枚、1月～3月 2枚を交付(チケット 1枚600円)

成果指標	指標名	高齢者バス割引乗車券購入者数				
	指標の説明	高齢者バス割引乗車券(かなちゃん手形 1年券及び6ヵ月券)の市の助成を受けた方的人数				
	目標	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	実績	人	36,914	39,578	41,990	43,983
達成率	%	29.4%	25.2%	24.1%		
指標備考	目標は対象者数、実績は購入者数、達成率は購入率					



事業のコスト				
コスト	単位	平成29年度(決算)	平成30年度(決算見込み)	令和元年度(予算)
	事業費	50,559	51,556	56,283
	人件費	2,153	2,153	
経費総額	52,712	53,709		

人件費内訳	平成29年度人件費内訳(単位:千円)			平成30年度人件費内訳(単位:千円)		
	行政職1	@ 8,610 × 0.25 人 =	2,153	行政職1	@ 8,651 × 0.25 人 =	2,163
	行政職2	@ 8,472 × 人 =	0	行政職2	@ 8,726 × 人 =	0
	再任用	@ 3,716 × 人 =	0	再任用	@ 3,304 × 人 =	0
	臨時職員	@ 1,197 × 人 =	0	臨時職員	@ 1,110 × 人 =	0
その他	× 人 =	0	その他	× 人 =	0	

事業費及び財源内訳(千円)	年度	総額	一般財源	国県支出金	市債	その他
	H29(決算)	50,559	48,621			1,938
	H30(決算見込み)	51,556	49,464			2,092
	R01(予算)	56,283	54,185			2,098

事業費内訳	<p>【令和元年度予算の内訳】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>共済費 6千円(臨時職員)</li> <li>賃金 621千円(臨時職員)</li> <li>需用費 322千円(消耗品 受付事務用・印刷製本 案内通知用封筒)</li> <li>役務費 2,520千円(通知郵送料)</li> <li>委託料 1,598千円(案内通知封入・封かん作業、受付業務)</li> <li>負担金、補助及び交付金 51,216千円</li> </ul>
-------	--

①市民要望	かなちゃん手形購入時のアンケート調査結果では、「有難く利用している。感謝している。」「外出する機会が増えた。」「とても助かる。持っているとう安心する。バス料金が安く済み経済的に助かる。」「今後も制度を継続してほしい。」「近距離だとメリットがない。」「近距離だと自己負担額が高すぎる。」などの御意見をいただいています。
②社会的要請	市民の4人に1人が65歳以上の超高齢社会の到来とともに、事業対象者が前年度比5%増加で近年推移しており、身近な交通機関である路線バスへの気楽な乗車が高齢者の外出機会の拡大や生きがいつくりの増進、運転免許証を自主返された高齢者の生活支援の一助に資するものと考えられています。
③課題	バス乗車距離に係る自己負担額の不平等感及び助成対象者の増加に伴う当助成事業の維持が課題と考えています。

上記課題等への対応や見直しの方向性	高齢者バス割引乗車券購入費助成事業は、平成17年度から開始し、これまでに助成対象者の増加に伴い助成額の見直しを行っており、平成29年度に現在の助成額に改正しました。今後におきましても他事業の状況及び御利用者の皆様並びにバス運行事業者の御意見を伺いながら、見直してまいります。
-------------------	---

直近3か年以内の事業見直しの有無とその内容	見直しの有無 有 平成29年度に、助成額を1年券6,000円から4,800円に、6ヵ月券3,000円から2,400円に見直しました。
-----------------------	---

近隣自治体の状況	【愛川町】 【清川村】 かなちゃん手形購入助成 (70歳以上) 【綾瀬市】 コミュニティバス (65歳以上)
----------	---